

年間指導計画作成のための留意点

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導をする。				互いの大切さを認めることを中心とした指導をする。		
各教科		国語「もっと知りたい、友だちのこと」 理科「こん虫の育ち方」				国語「書くことを考えるときは」 社会「わたしたちのくらしと商店の仕事」	国語「ちいちゃんのかげおくり」	国語「わたしの町のよいところ」	体育「多様な動きをつくる運動」	保健「たいせつなけんこう」	国語「モチモチの木」	国語「三年生をふり返って」
道徳	親切 基本的な生活習慣	愛校心 規則尊重・公德	愛国心・国際理 勤勉・努力	郷土愛 親切		生命尊重 友情	尊敬・感謝 個性伸長	生命尊重 規則尊重・公德心	勤労 家族愛	敬けん 正直 誠実・明朗	生命尊重 勤勉・努力	
総合的な学習の時間	小松菜博士になろう											
特別活動	「1年生を迎える会」	「全校遠足」		「西小松川まつり」					ユニセフ募金		「6年生を送る会」	
	クラブ活動 ・ 委員会活動 ・ 兄弟学年班遊び、集会、給食											
その他	保護者会・地域訪問 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。			個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。				道徳授業地区公開講座 道徳教育の取組と大切さを伝え、連携をとる。				

「    」=個別的な視点からの取組（「    」内は人権課題）  
↔ =関連的な指導  
     =「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導